

## 長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

## アフターサービス

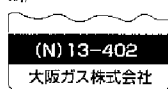
### サービスのお申し込み

- 15ページの「故障や異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。  
確認のうえそれでも不具合な場合、あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスにご連絡ください。

●ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……ガスレンジ
2. 型番……機器の前面に貼付してあります。
3. 故障・異常の現象
4. お客様名・住所・電話番号

(例)



### 転居される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。



**警告**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

- 転居にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間中でも有料となります。  
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### 保証書について

- この機器には保証書がついています。  
このガスレンジは保証書に記載のように機器の故障について修理いたします。  
詳しくは保証書をご覧ください。  
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 大阪ガスのお問い合わせ先

大阪ガス本部	〒550 大阪市港区千代田2-1-20	連絡先	556 586 3121
天王寺事業本部	〒530 大阪市淀川区船場2-2-1	連絡先	0722 39 1121
枚方事業本部	〒584 大阪府枚方市南町1-1	連絡先	0724 02 2481
北摂事業本部	〒576 大阪府守口市南2-3-1	連絡先	0726 62 1111
北摂事業本部	〒569 大阪府堺市東区3-3-1	連絡先	0726 71 8351
河内事業本部	〒562 大阪府守口市1-4-1	連絡先	0726 44 1111
河内事業本部	〒560 大阪府守口市1-2-2	連絡先	0728 260 3100
堺事業本部	〒592 大阪府堺市東区1-1	連絡先	0722 35 2221
堺事業本部	〒660 大阪府堺市東区中島町2-1	連絡先	0726 23 2221
堺事業本部	〒600 大阪府堺市東区中島町2-1	連絡先	075 511 7301
箕面事業本部	〒525 大阪府箕面市西大馬場5-1	連絡先	0726 62 5311
茨田事業本部	〒526 大阪府茨田町1-2-1	連絡先	0746 22 3111
八尾事業本部	〒526 大阪府八尾市南町1-1	連絡先	0749 62 7121
八尾事業本部	〒521 大阪府八尾市南町1-1	連絡先	06 06 392 2221



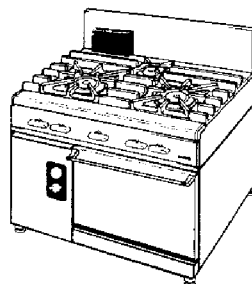
**危険**

ガスクイとききは、ガス栓を開め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

# ガスレンジ

13-402型  
13-403型

型式名/RCC-096  
RCC-126



※本図は13-402型を示す

## 取扱説明書

### もくじ

#### 安全上のご注意

- 安全上のご注意 必ずお守りください……………1

#### お使いになる前に

- 使用前の準備……………5
- 各部の名称……………7

#### 使用方法

- こんろの使用法……………9
- オープンレンジの使用法……………11
- 日常の点検とお手入れ……………13
- 消耗品について……………14

#### 困ったときは

- 故障や異常の見分け方と処置方法……………15
- 仕様……………16
- 寸法図……………17
- 長期間使用しない場合……………裏表紙
- アフターサービス……………裏表紙

### ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスレンジをお買い求めいただきましてありがとうございます。  
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- 本製品は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用しないでください。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い求めの販売店または大阪ガスにて再購入してください。

**大阪ガス**

# 安全上のご注意 **必ずお守りください**

取扱説明書および製品に示された注意事項は、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐ製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●次のような表示と意味の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●絵表示については次のような意味があります。

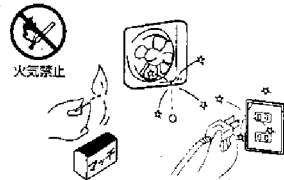
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。		火災注意
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		高温注意
			火気禁止
			燃焼禁止
			分解除止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。		

## 危険

●ガス臭い等で、ガス漏れに気付いたら

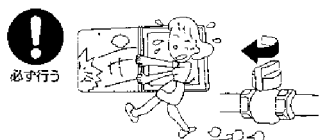
### ガス漏れ時使用厳禁

- ガス漏れのとときは、火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話など使用しない。
- 引火し爆発事故を起こすことがあります。



●万一ガス漏れに気付いたら

1. すぐに使用を中止しガス栓を閉じる。
2. 窓や戸を開けてガスを外に出す。
3. お買い求めの販売店または大阪ガスに連絡する。



## 危険

- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れや異常動作しけがをすることがあります。

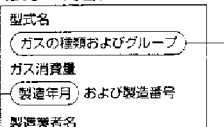


## 警告

●使用ガスについてのご注意

- 機器が使用ガス（使用ガスグループ）に適合していることを機器の前面左側に張り付けている銘板で確認してください。
- 表示以外のガスでは使用しないでください。不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり燃発着火や炸けたりすることがあります。また故障の原因にもなります。
- 転居または移設されたときにも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確かめてください。

〈表示の内容〉



ガスの種類を  
確かめる

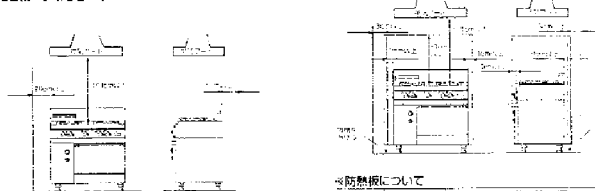
例) 97.09 (1997年9月製造)

●設置について

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス製板などを直接取り付けられた場合でも可燃物と同様の距離が必要で。
- 機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。(例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚をつける等)設置基準上問題となる場合があります。また不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。
- 床面は不燃構造にしてください。

●可燃物との隔離距離および周囲の防火措置

- 機器上方周囲の壁などが木材のような可燃物の場合、壁から側面は20cm以上、背面は15cm以上必ず離してください。機器上方に必ず排気フード付排気筒を設けてください。
- 機器上方周囲が可燃性の壁より側面は20cm以上、背面は15cm以上、離さない場合、下図のように防熱板を取り付けてください。



※防熱板について

材質	厚さ	注意
銅板	0.5mm以上	3cm以上の空間をとり、有害な表形の銅板
鋼板	0.3mm以上	ないよう補強してください。

## 警告

### ●火をつけたまま離れない

火をつけたまま離れたり、あやふやになることを禁止します。調理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。



### ●可燃物の近接禁止

物の落ちる恐れのあるところや、燃えやすいもの、引火性（スプレー缶、油など）のものそばでは使用しないでください。焦げたり、燃えたりして火災の原因になります。



●不安定な場所や可燃物の上に設置しないでください。火災の原因になります。



火災注意



●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど、けがをする恐れがあります。



●使用場所の換気口（給気口・排気口）は、常に確保し、物などでふさがないようにください。また、機器上方に必ず排気フード付排気筒を設け、使用中は必ず換気をしてください。



換気をする



●使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合、あわてずに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。



使用を中止する

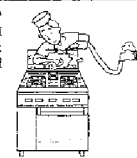


●オープンを使用の場合）  
排気口上の可燃物上乗せ禁止

●使用中排気口をタオル・ふきんなどでふさがないようにください。不完全燃焼や火災の原因になります。



●機器を水につけたり、水をかけたりしないでください。点火不良や不完全燃焼の恐れがあります。また故障の原因にもなります。



## 注意

### ●ガス事故防止

●ガス配管工事は専門の資格・技術が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。



確認



●使用後は消火を確認、お出かけ・おやすみになるときはガス栓を必ず閉めてください。



ガス栓を閉める



●オープンに点火するときは、必ずオープン扉を開けて、点火確認窓からオープンバーナーに着火したことを確認してください。オープン扉、点火確認窓のフタを閉めたままの点火は絶対にしてはいけません。



必ず確認してください

## 注意

●調理以外に使用しないでください。過熱、異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。



禁止



●やかんやなべの取っ手がバーナーの炎で過熱され、焼損することがあります。火気を避けてください。やかんやなべの取っ手は熱くなります。やけどする恐れがあります。



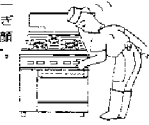
火力調節する



●点火操作をするときは、バーナー付近に顔を近づけ過ぎないようにください。炎や熱で顔をやけどする恐れがあります。



禁止



●使用中、使用直後は器具控レバー、オープンバーナー用つまみ、湿度調節つまみ、オープン扉取っ手以外は高温です。さわらないでください。特に幼いお子様に注意してください。やけどする恐れがあります。



冷却禁止



●使用中に体の一部や衣類がバーナーに近づかないよう注意してください。衣類に炎が移ったりしてけが、やけどの恐れがあります。



禁止



●この機器の付属品あるいは純正部品以外は使用しないでください。バーナーを覆うような鉄板・障板や直達・40cm以上のなべは使用しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。



禁止



（オープンを使用の場合）

●オープン扉を開くときは、強い力を加えないでください。扉が変形したり、開まらなくなります。



禁止



（オープンを使用の場合）

●オープンを使うときは、手や顔を近づけないでください。扉内から高温の排気が出ますので注意してください。又手や顔が扉内に触れないようにしてください。やけどの恐れがあります。



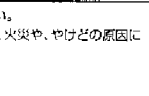
高温注意



●車中・船舶での使用はしない。使用中に機器が傾いたり、火災や、やけどの原因になります。



禁止



●市販の補助具（アルミはく製の受け、補助ごとくなど）は使用しないでください。炎が接触し、異常過熱や不完全燃焼の原因になります。



禁止



●点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ。たまったガスに着火し、やけどをする原因になります。



●機器本体内部をお手入れする場合、各部の高梁部などに注意する。強く当たった場合は手などをけがする場合があります。必ず手袋をはめてお手入れする。



手袋をはめる

## 気をつけていただきたいこと

●本製品は業務用です。この機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。

●使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んで頂き内容をよく理解してからお使いください。

●使い終わった後は手ぬぐいや新聞紙などで機器を覆うようなことはしないでください。

# 使用前の準備

## 使用ガスを確認する

機器本体の前面左側に表示しているガスの種類とお宅のガスが一致しているがまず確かめてください。

＜表示の内容＞

型式名
ガスの種類およびグループ
製造年月 および製造番号
製造業者名

ガスの種類を  
確かめる

例) 07 09 (1997年9月製造)

## ガス接続・設置

### ■ガス栓

- 専用のガス栓を付けてください。
- 燃焼を使用する場所にガス栓がない場合、あるいはあっては位置や寸法などが適切でない場合は、新設、移設、または交換などが必要ですので、お買い求めの販売店または大阪ガスにご相談ください。

### ■ガス接続

- ガス接続口径はRc3/4 (20A)です。
- ガス配管工事は専門の資格・技術が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。

### ■脚ガタ調節方法

- 機器底面四隅のアジャスターにて脚ガタを調節してください。

### ■バックガード及び排気カバーの取付方法

- 設置時は排気カバーのついたバックガードを下記の要領で必ず取付けてください。
- 後天割ネジ(3本)と後部割ネジ(3本)を取りはずし、バックガードを排気カバーが排気筒にかぶる様にしごきこんで、取りはずしたネジを使用して確実に取り付けてください。
- 排気カバーはバックガードからははずさないでください。

- 大バーナー、小バーナーの輸送用ネジ(各バーナー1本)を取り除いてください。

- 設置時はオープン庫内に入っている部品を取り出し、バックガードに張り付けてある部品取付説明書に従い各部品を必ず取り付けてください。

## 設置場所

### 安定性がよく水平なところ

不安定なところ、風のあるところでは使用しないでください。



禁止

### 落下物の心配のないところ

櫛の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。機器の上に落ちたものが燃えて、火災になることがあります。



禁止

### カーテンやスプレー缶など燃えやすいものがないところ

カーテンや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。



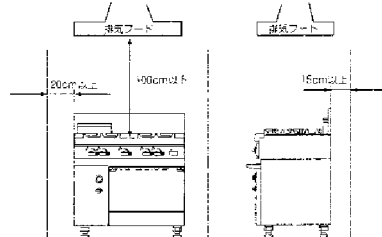
禁止

- 耐久性などの点から湿気の少ないところに設置してください。
- 使用場所の換気口(給気口・排気口)は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。また、機器上方に必ず排気フード付排気筒を設け、使用中は必ず換気をしてください。しめきった場所を長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

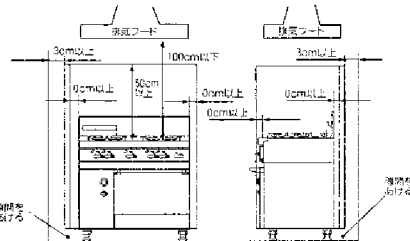
# 使用前の準備

## 可燃物との離隔距離および周囲の防火措置

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接取り付けられた場合でも可燃物と同様の距離が必要です。
- 機器を設置した後、機器の周囲を改造しないでください。(例えば、周囲をどったり、吊り戸棚をつける等)設置基準上問題となる場合があります。また、不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。
- 床面は不燃構造にしてください。
- 機器上方周囲の壁などが木材のような可燃物の場合  
壁から側面は20cm以上、背面は15cm以上必ず離してください。  
機器上方に必ず排気フード付排気筒を付けてください。



- 機器上方周囲が可燃性の壁より側面は20cm以上、背面は15cm以上離せない場合  
下図のような防熱板を取り付けてください。



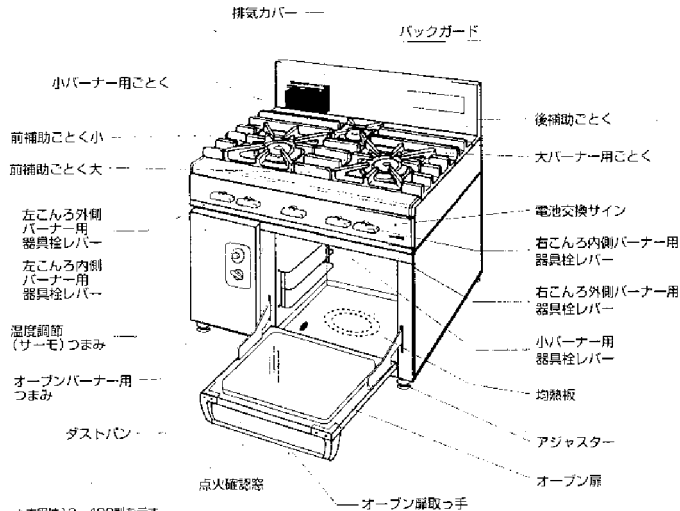
### ※防熱板について

材質	厚さ	ご注意
鋼板	0.5mm以上	3cm以上の空間をとり、有害な変形の生じないよう確認してください。
ステンレス鋼	0.3mm以上	4cm以上確認してください。

※防熱板については、お買い求めの販売店または大阪ガスにご相談ください。

# 各部の名称

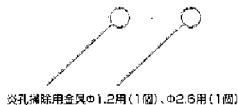
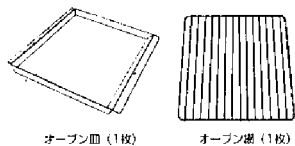
## ●本体



※本図は13-402型を示す

□部は、安全にお使いいただくための注意ラベル類が張ってあります。

## ●付属品



●その他の付属品は16ページを参照してください。

●**気をつけていただきたいこと**

●ガスレンジには便利な調理機器が付属としてついています。ちょっとした工夫で便利にお使いいただけますが、ガスレンジ専用で作られていますので他の用途にはお使いにならないでください。

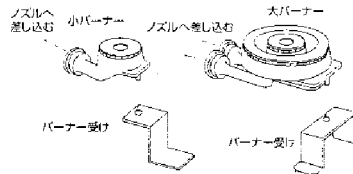
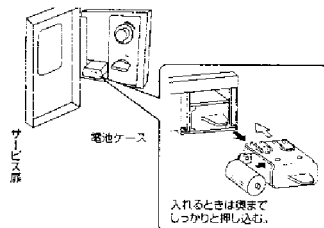
●はじめでお使いのときは、オープン皿、オープン網は中性洗剤で洗ったのち、きれいな布で水気を拭きとってください。

## 乾電池の取り替え方法

- 電池ケースはサービス景の中にあります。
- サービス景を開いてください。
- 電池ケースを手前に引き出し、単1形乾電池、2個を土ごこの確性を確認してしっかりと入れてください。
- 電池ケースの「上面」表示を上にして確実に奥まで押し込んでください。

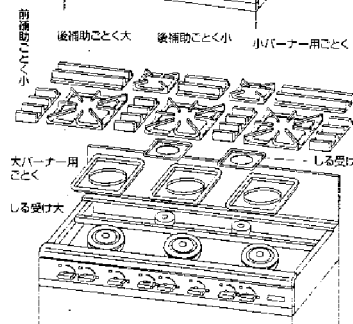
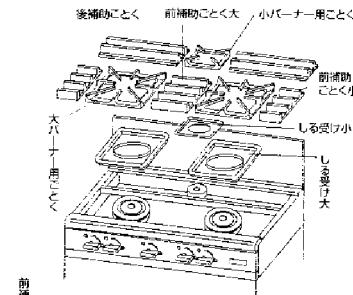
●**気をつけていただきたいこと**

- 乾電池が消耗してきますと、点火操作時に電池交換サインが点灯します。点火操作はできますが早目に新しい乾電池にお取り替えください。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 電池ケースや乾電池は水にぬらさないように取り扱ってください。腐食したり電池寿命は短くなる場合があります。



## ●部品の装着

- 各部屋のあて紙や梱包部材を取り除き、部品を確認してください。また、オープン扉内にある部品も確認してください。
- 大バーナー、小バーナー  
各バーナーをノズル部に差し込み、バーナー表面の丸突起部をバーナー受けの穴に確実に入れてガタつきのないようにのせてください。
- しるの受け小、しるの受け大  
本体にガタつきのないようにのせてください。
- ごとく  
(13-402型の場合)
- 小バーナー用ごとく(1個)、大バーナー用ごとく(2個)、後補助ごとく(2個)、前補助ごとく小(2個)、前補助ごとく大(1個)をガタつきのないようにのせてください。
- 前補助ごとく小、前補助ごとく大の前後方向を図のように正しくのせてください。



お使いになる前

# こんろの使用法

## 点火前の準備と確認

### ■確認

- 機器の近くには、紙・プラスチック・油類やスプレー缶など燃えやすいものが置いていないこと。
- 付属のバックガード及び排気カバーが取り付けられていること。

### ■準備

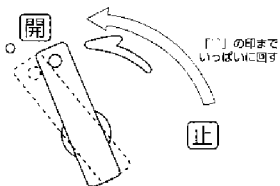
- 器具栓レバー、オープンバーナー用つまみが「止」の位置にあることを確認してからガス栓を「全開」にしてください。

紙をつけて  
いただきたいこと

ガス栓を開く際には、機器が接続されていないガス栓を誤って開いたり他の機器のガス栓を操作しないよう十分注意してください。

## 点火

- 器具栓レバーをゆっくりと左方向の点火位置（○印）までいっぱい回してください。
- バーナーへ火移りしたことを確かめてから手を離してください。
- 器具栓レバーが点火位置（○印）より【開】の位置までずしもどります。



〈点火〉

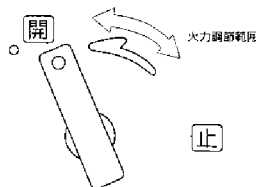
はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。

**禁止** 点火操作中は器具栓レバーを途中で止めないでください。点火されずに生ガスが放出されて危険です。

- 点火の際は、こんろのやかんやなべなどをかけて点火し、全部の炎口に着火したことを必ず確かめてください。

## 火力調節

- 器具栓レバーを回して調理に適した火力でお使いください。



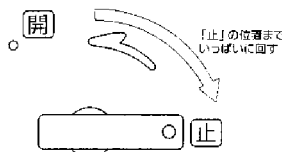
紙をつけて  
いただきたいこと

炎を小さくしすぎると風などで消えることがありますので小さくしすぎないでください。また強火にするときは、必ず炎の大きさを見てゆっくり火力を調節してください。急に火力調節すると消火することがありますから、必ず着火していることを確かめてください。

- なべによっては、取っ手を焼損する恐れがありますので、必ず炎の大きさを見て火力を調節してください。
- 蒸こぼれは火を消したり、バーナーや機器を早くいためますので、一度煮立ったら、沸騰がつづく程度の火力にご使用ください。
- 小バーナー部に大きななべを使用するとバックガードの一部が変色する恐れがありますが異常ではありません。

## 消火

- 器具栓レバーを右へいっぱい（「止」の位置まで確実に）回して消火してください。



〈消火〉

完全に「止」の位置まで回さないとガスが漏れたりして危険です。必ず火が消えたことを確認してください。

紙をつけて  
いただきたいこと

使用中、使用直後は、器具栓レバー以外は高温です。さわらないでください。特にごとく類は、湿度がさめにくいのため、ご注意ください。

## 使い終わった後

- 器具栓レバーが「止」の位置にあることを確認し、ガス栓を「全開」にしてください。

# オーブンレンジの使用法

## 点火前の準備と確認

### ■確認

- 機器の近くには、紙・プラスチック・油類やスプレー缶など燃えやすいものが置いていないこと。
- バックガード及び排気カバーが取り付けられていること。
- オーブン排気筒はタオル、ふきんなどでふさがないこと。

### ■準備

- 器具検査バー、オープンバーナー用つまみが「止」の位置にあることを確認してからガス栓を「全開」にしてください。

気を付けて  
いただきたいこと

ガス栓を開く際には、機器が接続されていないガス栓を誤って開いたり他の機器のガス栓を操作しないよう十分注意してください。

### はじめてお使いになるとき

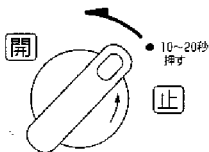
- オープン庫内をカラ焼きしてください。  
320℃ 約30分  
このとき煙と臭いがですが異常ではありません。
- オープン皿、オープン網などは、中性洗剤で洗ったのち、きれいな布で水気を拭きとってください。

## 点火

①温度調節(サーモ)つまみを最高温度に合わせてください。

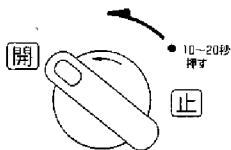


- ②オープン扉を開けてください。
- ③オープン庫内下部にある点火確認窓のフタを開けてください。
- ④オープンバーナー用つまみを左の方向「開」の位置で10～20秒そのまま押し込んで、パイロットバーナーに点火してください。



はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。

- ⑤点火確認窓からパイロットバーナーに点火していることを確認してください。
- ⑥手を離してもパイロットバーナーが消えないことを確認してから、オープンバーナー用つまみを「開」の位置まで回して、オープンバーナーに着火してください。



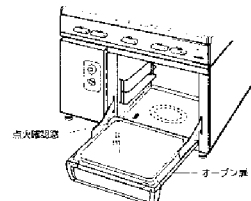
⑦オープンバーナーに着火したことを点火確認窓から確認してください。

### 注意



オープンバーナーに着火したことを必ず確かめてください。オープンバーナーに着火しないと、生ガスが放出されて、爆発点火の原因になります。

- ⑧温度調節(サーモ)つまみを調理温度に合わせてください。
- ⑨点火確認窓のフタ、オープン扉を開けて、約10分間予熱をしてください。



⑩予熱後、食品を入れてください。

### 注意



オープンバーナーの失火に気づいたときはオープンバーナー用つまみを「止」の位置に戻し、オープン扉をあけて庫内を十分換気してから再点火してください。

### 注意



オープン庫内に飛び散った脂は常に取り除いてください。鳥、焼肉などの脂の多く出る料理を連続して調理する場合は、脂が燃え火災になる恐れがありますのでオープン庫内の脂を常に取り除くようにしてください。

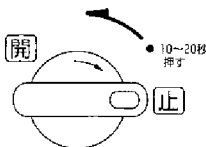
## 注意



オープン使用中は、オープン扉を確実に閉めてください。高温の排気により機器に異常をきたす恐れがあります。

## 消火

- オープンバーナー用つまみを「止」の位置に戻してください。



- オープン扉を開いて料理を取り出してください。

完全に「止」の位置まで回さないとガスが漏れたりして危険です。必ず火を消したことを確認してください。

## 注意

オープン使用中や使用後は、オープン扉、その周辺に触れないでください。高温のため、やけどをすることがあります。

## 使い終わった後

- 器具検査バー、オープンバーナー用つまみが「止」の位置にあることを確認し、ガス栓を「全閉」にしてください。

# 日常の点検とお手入れ

お手入れするときは、まず確かめてください。

①ガス栓が閉まっている。②機器が冷えている。

## ⚠危険



分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。



## ⚠警告



禁止

- 機器を水につけたり、水をかけたりしないでください。点火不良や不完全燃焼の恐れがあります。また故障の原因にもなります。



## ■点検

- ガス接続口からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- 機器の近くに、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置かないか点検してください。
- ごとく・しる受け・均熱板などが正しくセットされていますか。
- バーナーが蒸気などでつまっていませんか。
- オープン扉内に多量の脂がたまっていないか、こびりついていないか点検してください。

## ■お手入れ

お手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。

使っても良いもの	●中性洗剤	●やわらかい布	●スポンジタワシ
使ってはけないもの	●酸性・アルカリ性の洗剤	●アルコール・シンナー・ベンジン	●クレンザー(みがき粉)
		●金属たわし・ナイロンたわし・金属ヘラ	

## ●機器本体の表面・ごとく・しる受け・ダストパン

- 中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で水分を十分ふきとってください。汚れたままにしておきますと蒸気などで早くいためます。
- ダストパンは手前に引き出せますので、ご使用後は、必ず取り出して中性洗剤で洗い、乾いた布で水分を十分ふきとってください。

## ●バーナー

- ガスを有効にお使いいただくためには、バーナーのお手入れが大切です。バーナーの炎が芯をのぞいたときには、バーナーを取りはずして、炎口をブラシや付属品の炎口掃除用金具などで掃除してください。

## 【お願い】

- お手入れした部品は正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていない場合は不完全燃焼の恐れがあります。
- 機器本体には安全に関する注意事項が張ってあります。汚れたり、読めなくなったときは、柔らかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり、読めなくなった場合は、お買い求めの販売店または大阪ガスで新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

## ●オープン扉内

- 中性洗剤を湿した布で汚れを落とした後、洗剤分をふきとり、最後にからふきしてください。汚れたままにしておきますと、損傷を早めます。

## ●オープン皿・オープン網

- 中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で水分を十分ふきとってください。

## ●均熱板

- 均熱板を取りはずして中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で水分を十分ふきとってください。

## ●オープン皿受け

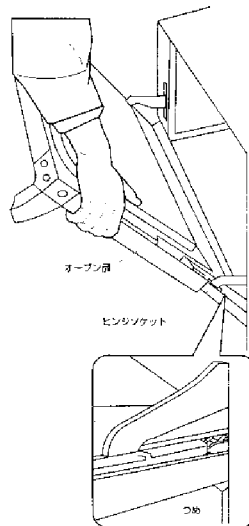
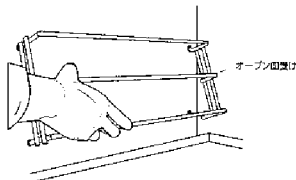
- オープン皿受けのつめを穴に差し込んでありますので、少し持ち上げ、手前に引いてはましてください。

## ●オープン扉

- オープン扉をロックする位置で半開きにし、オープン扉裏側にある両端のつめを同時に押さえたままオープン扉を引くとはずれます。
- 中性洗剤でお手入れしてください。
- お手入れ後は、オープン扉をヒンジソケットにそのまま奥まで差し込み、少し引っぱっても抜けないことを確認してください。

## ⚠注意

オープン扉をはずす際は、必ずオープン扉が半開きでロックする位置ではましてください。ロックをしない位置でオープン扉をはずすと、ヒンジソケットがはねて戻り、手や指はさんでけがをされる恐れがあります。



使用方法

## ■消耗品について

消耗部品はお買い求めの販売店または大阪ガスでお買い求めください。

## ●ごとく・しる受け

- ごとく・しる受けが変形・破損した場合は、その部品をお買い求めください。

## ●オープン皿・オープン網

- オープン皿、オープン網の変形、破損などでご使用に不便をきたすようになりましたらその部品をお買い求めください。

困ったときは



# 故障や異常の見分け方と処置方法

## 警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止、  
あわてず、ガス栓を閉める。

現象	お調べいただくこと	処置方法
点火しない 点火しにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓が全開になっていますか。</li> <li>●器具栓レバーを左方向へいっぱい回していますか。</li> <li>●乾電池が入っていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓を全開にする。</li> <li>●器具栓レバーの位置を確認する。</li> <li>●乾電池を入れる。</li> </ul>
電池交換サインが点灯した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池を交換する。</li> </ul>
着火(火移り)しにくい 爆発的に着火する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓が全開になっていますか。</li> <li>●バーナーの炎口がつまっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓を全開にする。</li> <li>●バーナー炎口のつまりを取り除く。</li> </ul>
使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓が全開になっていますか。</li> <li>●器具栓レバーを絞らずきいていますか。</li> <li>●バーナーの炎口がつまっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓を全開にする。</li> <li>●器具栓レバーの位置を確認する。</li> <li>●バーナー炎口のつまりを取り除く。</li> </ul>
オープンの庫内温度が 上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓が全開になっていますか。</li> <li>●オープン扉が完全に開まっていますか。</li> <li>●温度調節(サーモ)つまみを調理湿度に合わせていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス栓を全開にする。</li> <li>●オープン扉を完全に開める。</li> <li>●温度調節(サーモ)つまみを調理湿度に正しく合わせる。</li> </ul>
オープン庫内温度が高い(低い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温度調節(サーモ)つまみを調理湿度に合わせていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温度調節(サーモ)つまみを調理湿度に正しく合わせる。</li> </ul>

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店または大阪ガスへご連絡してください。

# 仕様

## 仕様

品名	ガスレンジ	
型番	13-402	13-403
型式名	RCC-096	RCC-126
点火方式	連続スパーク点火	
外形寸法	幅900mm×奥行800mm×高さ800mm	幅1200mm×奥行800mm×高さ800mm
庫内寸法	幅500mm×奥行475mm×高さ310mm	
質量	130kg	150kg
ガス接続	Rc3/4(20A)	
付属品	単1形乾電池2個・炎孔掃除用具(φ1.2mm)1個(φ2.6mm)1個・オープン皿1枚・オープン網1枚・取扱説明書・保証書	
別売品	延長排気筒 64-5302 W276mm×D42mm×H520mm	

## 個別ガス消費量

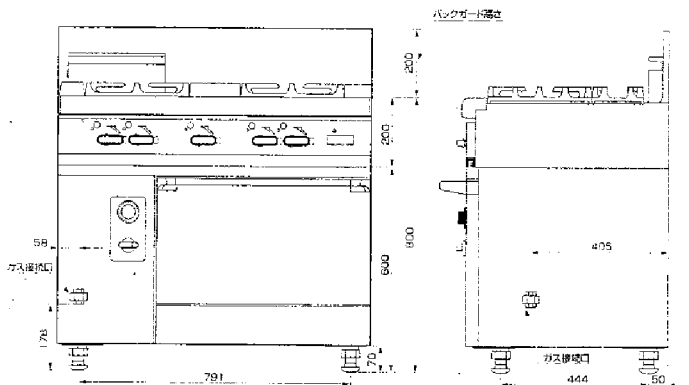
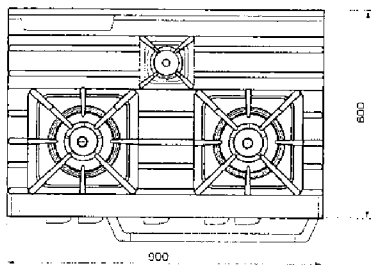
使用ガス・ 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			全点火時ガス消費量 kW(kcal/h)	
	個別ガス消費量			13-402	13-403
	大バーナー	小バーナー	オープンバーナー		
都市ガス用 13A	14.5(12500)	3.60(3100)	8.14(7000)	40.7(35000)	58.1(50000)

\*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

# 寸法図

■寸法図 (単位: mm)

13-402型



13-403型

